

避難所のコロナ対策を シミュレーション

7.3
fri

市は、避難所での新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成しました。これに基づき、避難所の設置・運営のシミュレーション訓練を行いました。

避難所では、密集・密接によるクラスターを防ぐため、複数の「避難スペース」を確保しています。どのように避難者同士の距離を確保するか、発熱者が避難してきた場合にどこに誘導するかなどをシミュレーションしました。

市は、職員の役割分担や手順を明確にし、感染症に対応した避難所運営を円滑に行っていきます。



コロナ禍だからこそ 短冊に願いを

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの七夕関連イベントが中止となりました。しかし、「七夕の里おどおり」として、七夕の文化を次につなげたいと、七夕プロジェクト実行委員会が市役所やコミュニティセンターに七夕笹を設置し、来訪者に願い事を書いてもらう企画を行っています。

「1日も早くコロナが終息してみんなが元の生活を取りもどせますように」「大雨で災害が発生しませんように」といった色とりどりの願いが笹を飾っています。

※笹は、8月7日まで設置しています



「無事カエル守り」を プレゼント

6.16
tue

三井高校家庭クラブの生徒が、調理実習で出たシジミの貝殻を使ってカエルのお守りを制作しました。お守りはかえる寺(如意輪寺)で祈願してもらい、三井高校の地元にある立石小学校の1~3年生へプレゼントしました。

クラブ委員長の河村実さん(高校3年)は「シジミは貝殻同士がぴったりと合うので縁起がいい。これを持つことで安全に家にカエル(帰)ることができるように、そしてコロナ禍の現在から元の安全な社会に戻るように願いを込めました」と話しました。

お守りを受け取った山田翔陽さん(小学3年)は「お祈りもしてくれてすごい」と笑顔で話しました。



宝満の市が リニューアルオープン

7.1
wed

生産者直売所「宝満の市」が大崎ポケットパークに場所を移し、リニューアルオープンしました。佐々木代表は「地域に愛される施設にしたい」と意気込みを語りました。店内は、新鮮な野菜やお花でいっぱい。ぜひ一度訪れてみてください。



生産者直売所「宝満の市」
営業時間 午前9時~午後5時※月曜定休